

今日も訪問へ行く！

訪問看護経験年数 5 年未満のナースへ！
集まろう！繋がろう！語り合い讃えあおう！

をテーマに奈良県訪問看護ステーション協議会による研修会が開催されました。

新人訪問看護師研修

開催日：令和 6 年 7 月 18 日(木)

場所：社会福祉センター研修室 A

時間：14 時から 16 時

※写真は許可を得て掲載しています



研修会には、奈良県内から 5 年未満の訪問看護師 21 名が集まってくれました。

野の花からは 1 名が参加し、私は理事として企画運営に携わりました。

1 部では、研修会の事前アンケートの結果報告後、結果をもとに意見交換会を行いました。

2 部の自由に語り讃えあう会では、日々の訪問看護の様子や悩み・相談など自由トークを行いました。

和やかな雰囲気の中、笑顔を見ることができ、とても嬉しかったです。

参加者からは、

「数名とライングループで繋がることができて楽しかった」

「みんなと話し色々刺激になった」

「同じような思いで頑張る看護師がいることが励みになった」

「また開催してほしい」

と嬉しいご意見と感想をいただきました。



若きナースたちは、看護に対する熱い思いを胸に抱き、在宅で過ごす利用者様とご家族様のために看護をしたいと心から望んでいました。

私は、若いナースたちの熱意を目の当たりにし、彼らを応援し、サポートしたいと強く思いました。

「心のこもった看護とリハビリテーションを行う」ナースとして成長すると私は心から信じています。

訪問看護ステーション野の花は、心広い愛情をもって、より一層の質の向上を目指して、

学び・わかちあい・讃えあい、看護とリハビリテーションを提供してまいります。

宜しくお願いいたします。

訪問看護ステーション野の花 所長 丸山節子

今日も訪問に行く



2024/8/8、去年よりも暑い日が連日続いています。
最高気温が 38 度！
熱中症警戒アラート発動！

この季節は陽射しが強いので曇りの方が過ごしやすいです。

それでも、利用者様から、野の花の訪問看護を心待ちにしていると聞いて暑さが吹き飛ぶぐらい嬉しい気持ちで一杯です。



向日葵が元気に咲いていました。
暑くても、向日葵の様に元気に、
今日も訪問に行ってきます！



元気な向日葵！



訪問看護ステーション野の花 看護師



第 32 回大宮まつりに 「訪問看護ステーション野の花」が参加



※写真は許可を得て掲載しています。

2024 年 8 月 10 日(土曜日)「なら 100 年会館」で第 32 回大宮まつりが開催されました。外では、済生会奈良病院の職員がジュース 1 本を購入すると、1 回くじ引きができ景品が選べるというブースを開設しました。景品には「カブト虫」もあり、自分好みの景品を貰うことができるため 700 本のジュースは、あっという間に完売し大盛況でした。

看護部は、健康相談のブースを開設し血圧測定など健康チェックを行い、日常生活における不安などの相談に応じました。

訪問看護ステーション野の花は、館内で「簡単！フェルトでつくる薔薇のマグネットづくり」の催しを行いました。一番小さい 3 歳児から浴衣姿の小学生、ご父兄や祖父母の方々と約 100 名の方が思い思いの色を選んで、沢山の薔薇の花が咲きました。

今回、お祭りに参加させていただき、地域の方々と交流できたこの機会に心より感謝いたします。「体調が優れない」「こんな時どうするの?」と困ったことがあれば、気軽に相談していただき、少しでもお役に立てればと思っています。

訪問看護ステーション野の花 所長 丸山節子





今日も訪問へ行く



平行棒で訓練しておられます！



訪問看護ステーション野の花では、ご要望があれば、ご自宅や施設へ出向きリハビリテーションを提供しています。

住み慣れたお住まいで、いつまでも自分らしく生活してもらいたいという思いを胸に、訓練を行っています。

利用者様の好きなこと、続けたいことを一日でも長く続けていただけるように、ご支援させていただきます。



訪問看護ステーション野の花 作業療法士



今日も訪問へ行く



9月18日看護学生と共に訪問に行く

看護学生が実習に来ました。

在宅で生活されている利用者さんとコミュニケーションを取り、看護の実際を学んでいました。

看護学生の担当の利用者さんは自発的にリハビリをしようとされない方でした。そこで、リハビリを頑張ってもらおうと、かわいい表を作ったり、発声練習のため歌のリストを作ったりと、工夫をしながら実習に取り組んでいました。



実習最終日、利用者さんの希望と一緒に看護学生と歌を歌いました。

利用者さんはリハビリを頑張られたので、看護学生は手作りのメダルをプレゼントしました。

利用者さんはとても喜んでおられました。



看護学生を受け入れていただき、利用者さん、御家族に感謝致します。

看護学生もこの実習で学んだ事を生かし、今後も成長していくことを心から応援しています。



訪問看護ステーション野の花 看護師

令和6年度奈良県防災災害訓練に 訪問看護師1名と病院で勤務する看護師1名と介護福祉士1名が参加

令和6年度奈良県防災災害訓練が10月20日(日)9:00から都祁生涯スポーツセンターで実施されました。

厚生労働省医政局「災害・感染症医療業務従事者」として登録されている「**奈良県災害支援ナース**」として、済生会奈良病院に勤務する看護師1名と訪問看護ステーション野の花の訪問看護師1名は、奈良県看護協会の指示の下、訓練に参加しました。

災害支援ナースとは、被災地で地域住民の健康を維持・確保するために看護を提供する看護職員の事をいいます。

朝7時30分現地に到着すると、夜も明けきらぬうちから大勢の方が訓練の準備をされており、「奈良県民の命を守りたい」という熱い意気込みを感じました。

この訓練は、奈良県主催で災害対策基本法及び地域防災計画に基づき、防災関連機関等の参加と住民の協力を得て総合的な訓練が毎年行われています。

今回の訓練は、防災関連機関等の強化及び住民の防災意識の高揚を図ることを目的として開催されました。被災者の立場になって看護を考える機会とするため「災害看護」の講義の一環として看護専門学校学生が傷病者役として参加、奈良県内で勤務する医師・看護師・消防隊・レスキュー隊・救急隊自衛隊・ドクターヘリも参加し、初回トリアージ・緑・黄・赤色トリアージでは医師と看護師2名でチームを組み傷病者の診断と治療及び2回目の再トリアージを行い、空路を使用する搬送など様々な状況を想定した訓練が行われました。

看護師は緑トリアージで医師と共に活動、介護福祉士は、日本赤十字の災害チームの一員として参加し、黄トリアージで担架での搬送訓練を受けました。



※許可を得て掲載しています

近い未来発生するであろうと騒がれている南海トラフ巨大地震が発生した場合、奈良県内では最大で震度6強の揺れが想定されています。

被害は最大で、全壊する住宅はおよそ4万7000棟に上ると推定されています。奈良県は南海トラフ地震の被害を受ける可能性があり、全域が「南海トラフ地震防災推進地域」に指定されています。

災害発生を完全に防ぐことは不可能ですが、災害時の被害を最小化する「**減災**」、身の守り方を知っておく「**自助**」に取り組み、正確な情報に基づいて家族・隣近所一団となって冷静に行動できるよう備えることが大切だと改めて考える機会となりました。

貴重な経験をさせてもらったことに感謝いたします。

訪問看護ステーション野の花 所長 丸山節子

バイタルサイン測定を確認します



さあ、先輩と一緒に
野の花GOに乗って訪問先へ



今日も訪問へ行く

朝の情報収集をiPadで行います



私は、病院看護師を離れて訪問看護師として約3年になります。
訪問看護師は、一人で判断しなければならないアセスメント能力が
とても重要で、もちろん職業上、そつなく遂行するのが当たり前です。
しかし、その判断や提供する看護は正しいのだろうか？
これをその場で評価できるのも自分だけ。
その責任の重さや判断を下すという恐怖や不安はとても大きく、経験を重
ねても常に重く感じています。
そんな中、看護師経験はあるものの8年間のブランクがあり子育て最中
でもありながら、訪問看護に興味を持たれ、私たち「野の花訪問看護ステ
ーション」に一人の訪問看護師が来てくださいました。とても前向きで看護
に対するまっすぐな思いをお持ちの看護師さんです。
現在は先輩訪問看護師と同行訪問中ですが、それでも訪問看護の現場は、
常に緊張と不安でいっぱいであると思います。
同行訪問が開始となり、約1カ月がたち、ご本人の思いを聞かせていただきました。

只今帰りましたあ



振り返りながらiPadで
訪問記録を行います



今まで10人ほどの利用者様のご自宅訪問看護に同行いたしました。

使用物品、ケアを行うスペース、利用者様の生活空間、それぞれのご家族の背景などをいろいろと勉強になり、
考えさせられる点が多くありました。利用者様の生活の場に入り、看護を提供する難しさを学びながら、利用者
様、ご家族様の思いを大切にケアを提供できるようにしたいと思います。

今後、2回目以降の訪問時は、自分自身が主体的に関わっていけるようになりたいと思います。ご自宅までの道中
もシミュレーションし、理解しているところは、自身でもナビゲーションできるよう精進してまいります。



「第3回ふれあい秋祭り」に 訪問看護ステーション野の花が参加

第3回ふれあい秋祭りに訪問看護ステーション野の花が参加しました

2024年11月3日に奈良県立図書情報館で第3回ふれあい秋祭りが開催されました。
前日の大雨の凄さに気をもんでいましたが、当日は気持ちの良い晴天であったため、大勢の方が
お見えになり心行くまでお祭を楽しんでおられました。
済生会奈良病院の催しにも、沢山の方がお越しになりました。

※写真は許可を得て掲載しています

看護部は健康相談、血圧・握力測定、
アロマハンドマッサージ、防災パネル
展示(防災グッズ、スリッパ作成)を行
いました。

ケアプランセンターすずらんは、介護
相談とシンメリ作りを行いました。

訪問看護ステーション野の花は、
「フエルトでつくる薔薇のマグネッ
トづくり」を行い、77名の方が来られ
ました。

小さな子供さんからご年配の方迄、
素敵な薔薇を作っていただきました。



今回秋祭りに参加させていただき、地域の方々と交流できた事、感謝致します。

訪問看護ステーション野の花 看護師

訪問看護ステーション野の花 年末年始のご挨拶



2024

Happy New Year

2024 年の出来事

- ・ 石川・能登地震・地震による津波被害がありました
- ・ 箱根駅伝青山学院大学優勝
- ・ 日本探査機月に初着陸
- ・ パリ五輪日本メダル 45 個獲得
- ・ 20 年ぶりに新紙幣に変更などの出来事がありました

はお世話になり、ありがとうございました。

令和 7 年 (2025) 巳(み・へび)年です。

巳は胎児の形から派生した文字で「産まれてくる」「将来・未来がある」などといった意味があります。

また、巳は実とも読み替え、お金が「(実)に付く」ともいわれています。植物の成長に例えると「種子の殻を突き破り、芽を出す状態」を意味し、へびが脱皮を繰り返して成長することや、生命力の強さから

「再生」「復活」「長寿」を象徴し、縁起が良いとされています。

さて、過去のへび年はどんな年であったのか振り返ってみたいと思います。

36 年前(1989)は、昭和から平成へ元号が変わりました。

12 年前(2013)は、安倍政権が発足し「アベノミクス」が本格的に始動、2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会開催が決定したことも大きなニュースとなりました。



令和 7 年 (2025 年) もよろしくお願いいたします

93 歳の訪問看護利用者様が、脳梗塞後遺症である麻痺克服し、切り絵で 2025 年度の干支「巳」を作成してくださいました。

「成せばなる！」

ということを、利用者様から学ばせていただいたことに感謝いたします。

令和 7 年(2025 年)、野の花職員一同丸となって力を合わせ、新しいことにもチャレンジし、ご自宅で安心して暮らしていただけるよう、これからも看護とリハビリテーションを提供して参ります。

皆様にとって笑顔の多い一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

野の花一同、住み慣れたお住まいで末永くお暮しいただけることを心から願い訪問看護を行って参ります。

訪問看護に関するご相談は、電話番号:0742-34-9700 へご連絡ください。

訪問看護ステーション野の花 所長 丸山節子



今日も訪問へ行く！

～奈良県医科大学から臨地実習講師の称号を授与されました～



訪問看護ステーション野の花の看護師が 奈良県立医科大学から臨地実習講師の称号をいただきました。

この称号は「**学生の臨床教育の充実を図ることを目的**」とし、優れた医療人に対して付与されます。

名誉な称号をいただき、感謝いたします。

訪問看護ステーション野の花は、より一層の質の向上を目指して、学び・わかちあい・讃えあい、看護とリハビリテーションを提供してまいります。

宜しくお願いいたします。

訪問看護ステーション野の花 所長：丸山節子